

杵築市北台南台(大分県)

(1) 保存地区の概要

地区名	杵築市北台南台
種別	武家町
面積	約16.1ヘクタール
選定年月日	平成29年11月28日

特徴
杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区は、南北に分けられた台地にあり、北部は北台、南部は南台と呼ばれている。杵築藩の上層藩士の居住区で、藩政期の地割を良く残した武家町である。近世武家住宅の主屋と門及び、その形式を受け継いだ近代の住宅を伝統的建造物として良く残し、高低差のある地形を生かして、坂を巧みに配した武家地は、石垣や石段、土塀などによって、雄大で独特な景観を形成している。



北台 家老丁



中根邸



県指定 大原邸



塩屋(志保屋)の坂と酢屋の坂

(2) 保存地区のあゆみ

平成20年 (2008)	「杵築市城下町地区地区計画」の都市計画決定により武家屋敷地区の町並み保全を開始
平成26年 (2014)	杵築市北台南台伝統的建造物群保存対策調査に着手(～27年度)
平成29年 (2017)	「杵築市北台南台伝統的建造物群保存地区」の都市計画決定(7月) 『重要伝統的建造物群保存地区』選定(11月)
令和3年 (2021)	杵築市重要伝統的建造物群保存地区を核とした歴史まちづくりを促進するために歴史的風致維持向上計画を作成し、3月29日認定。
令和4年 (2022)	11月25日、歴史的建造物の調査や修理希望者へのアドバイスを目的として、大分県建築士会と杵築市で包括連携協定を締結。
令和5年 (2023)	保存地区内の空き家の利活用方法について、官学連携事業として、日本文理大学の学生が調査・研究を行い、報告会を開催。
令和7年 (2024)	全国伝統的建造物群保存地区協議会九州ブロック会議inきつきを開催。(1月30・31日) 北台家老丁にある旧興津家住宅をヘリテージマネージャー実地研修物件として活用。(10月)



九州ブロック会議の様子 講演会(左)・現地視察(右)

(3) 保存地区の保存と整備

令和 元年度	修理・修景事業	1件(工作物1)
令和 2年度	修理・修景事業	2件(工作物2)
令和 3年度	修理・修景事業	2件(建造物1・工作物1)
令和 4年度	修理・修景事業	3件(建造物2・工作物1)
令和 6年度	用地買上事業	1件
令和 7年度	修理・修景事業	2件(建造物1・工作物1)
	公開活用事業	1件(保存調査)

(4) 保存地区の活用とまちづくり

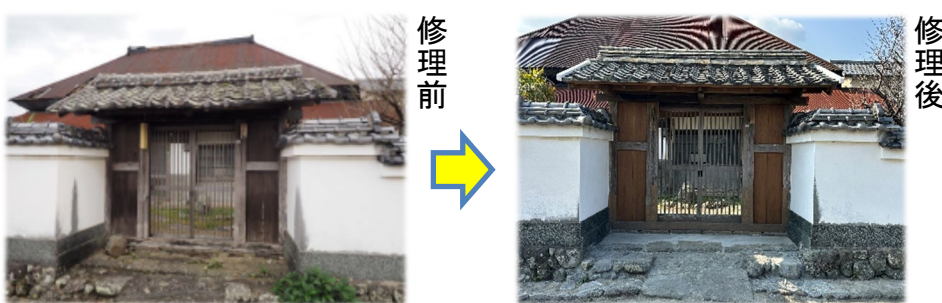
その1 伝統的建造物の修復

重要伝統的建造物群保存地区に選定される以前は、街並み環境整備事業を活用して、建造物の修復に取り組んできたため、伝統的建造物群保存地区制度へとつなげることができた。伝建制度導入後は、毎年少しずつ修理を実施している。

○令和7年度 建造物修理



○令和7年度 工作物修理



その2 伝統的建造物の活用

5月は北台の武家屋敷や酢屋の坂を中心に大名行列などを催した「きつきお城まつり」、10月は武家町はもちろろん商人町を含んだ、城下一帯を行灯の明かりで照らす「観月祭」など、季節ごとに様々なイベントを市と地域住民が協働で行っている。その甲斐があって、現在国内外問わず多くの観光客が訪れている。



呈茶席

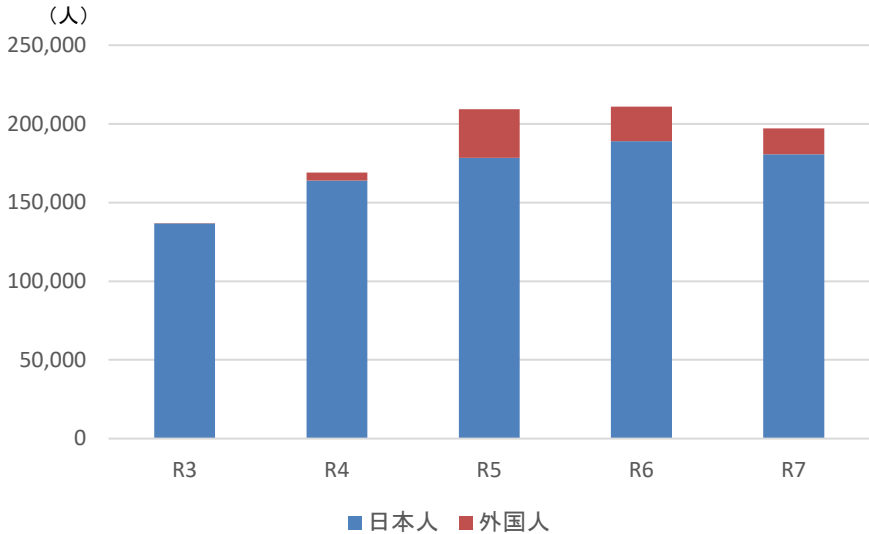


観月祭

過去5年間の保存地区(城下町エリア)への観光客数

単位:人

	R3	R4	R5	R6	R7
日本人	136,658	164,085	178,430	189,093	180,594
外国人	160	4,934	30,938	21,850	16,575
合計	136,818	169,019	209,368	210,943	197,169



(5) 住民等の取組

地元の声

・前地区代表(80歳代男性)

私はこの地区に住んで50年近く経ちます。住み始めた当時と町並みが幾分か変わってしまった部分もありますが、まだまだ江戸時代の佇まいを残した通りや屋敷が残っています。この町並みが地域の宝となったことに、住民としてうれしく思っております。重伝建地区として、町並みの保存と維持回復に地区としても協力していきたいと思っています。



代表時審議会での挨拶

・保存地区住民(60歳代女性)

33年前、落ち着いた武家屋敷の街並みに魅力を感じ、保存地区内に住み始めました。退職後は、重伝建地区を含む杵築城下町の魅力をより多くの人に伝えるためボランティアガイドとして活動しています。

また、保存地区内では、住民同士の交流と見守りを目的とした「和ッショイカフェ」を月1回開催しています。



地区イベントでの和ッショイカフェの活動

・移住者Yさんの声(60歳代男性)

私は平成25年に妻と伯母とともに、この地の落ち着いた町並みに魅了されて引っ越してきました。今は住宅に併設した店舗でパン屋を営んでいます。私どもを受け入れてくれた、この地区の町並みを微力ながら残し守っていききたいと思っています。